

# 「九州 PR センター」 設立調印式での挨拶

(2019年11月25日(月) 於：パン・パシフィック・ホテル)

- グエン・チャック・バー 外交団サービス局長はじめ外務省の皆様,
- 上村(かみむら) 社長はじめカミチクの皆様,
- 長尾(ながお) 専務理事はじめ九州経済連合会の皆様,

●日本政府を代表し、「九州プロモーション・センター」設立調印式開催に心からお祝いを申しあげるとともに、本件実現のために尽力された全ての皆様に敬意を申し上げます。2点お話をさせていただきます。

- 1点目は、日越の地域間の交流に関してです。

現在、日越間には、73の自治体間協力覚書が締結されています。うち6割以上の協力関係はこの5年以内に成立したものであり、日越の地域間協力は、最近、急速に緊密化しています。

●その中でも、ベトナムにおける九州地方の存在感は、年々増しています。例えば、ハノイ・福岡間には、直行便が毎日就航しています。ホーチミン市と福岡間の直行便も、現在の週3便から、来年冬には週6便への増便が予定されています。

また、福岡県、長崎県、宮崎県、鹿児島県は、ベトナムの各地方と協力覚書を締結し、経済、人材交流の分野で、それぞれの強みを活かした交流を積極的に展開されています。熊本県、佐賀県、沖縄県もベトナムとの関係強化を模索されています。また、2013年以降、九州各地から1万人以上の修学旅行生がベトナムを訪れたことも特筆すべきことです。

更に、来年の東京オリンピック・パラリンピックにおいて、長崎県及び県内9市町、大分県の佐伯市は、ベトナム・チームの「ホストタウン」になっています。

●今回、アジアで初となる「九州プロモーション・センター」設立が、九州の魅力発信にとどまらず、日越関係全体に様々な好影響を生むことを心より期待致します。

●なお、本構想実現に向けては、発案のみならず、関係者の説得、調整に尽力された吉村郁也氏の大きな貢献がありました。吉村氏に感謝するとともに、拍手をしたいと思います。

●2点目は、日越関係全般に関してです。

今年5月、日本は、「令和」という新たな時代をむかえました。10月、東京で開催された「即位礼正殿の儀」には、フック首相が参加されました。11月には、バンコクでフック首相と安倍総理の間で日越首脳会談が行われましたが、この日越首脳会談を挟んだ4か月間に、新規円借款プロジェクトの2年半ぶりの再開をはじめ、20を超える懸案事項が解決または大きく進展しました。

●現在、ベトナムは成長のエネルギーに満ち満ちており、大きく飛躍する歴史的な好機を迎えています。日本は、ベトナムがこの好機をとらえ、更に豊かで、強靱な国になって欲しいと願っています。ベトナムの更なる発展は、東アジア地域全体の繁栄と安定にとっても非常に重要です。日本は、このような視点から日越間の協力・連携を更に強化したい考えです。皆様の御支援をよろしくお願い致します。

●最後に、皆様の御健勝、九州プロモーション・センターの発展、九州とベトナムとの更なる関係強化を祈念し、私の挨拶といたします。  
ありがとうございました。(了)